

企業によるボランティア活動を 資金面から支援する方策について

広く防災に資するボランティア活動の促進に関する検討会資料

2016年2月22日

1

MS & AD インシュアランス グループの 「災害時義援金マッチングギフト制度」の目的

- ▶ 国内外で発生する大規模災害の被災者に対する人道的支援を、CSRの観点から、グループ会社社員と会社が一体となって実施する。社員からの義援金を尊重し、会社が同額を拠出する方法とする。
- ▶ 保険業を担うグループとして、被災された方が一日も早く通常の生活を取り戻せるよう、保険金の迅速なお支払に注力するとともに、社員自身もお見舞いの気持ちを表し、さらに会社もそれを後押しする仕組みを構築した。
- ▶ 本制度を通じて災害被災者支援という社会的課題の解決の一端を担うと同時に、MS&ADグループの企業価値向上を図る。

経緯

- ▶ 2004年10月の中越地震の際、2004年度に新設されたCSR推進室がその必要性を認識し、本制度を立ち上げた。
- ▶ 最初の義援金募集
1991年 雲仙普賢岳噴火（現金での募集）...住友海上
- ▶ イントラネットでの募集・給与天引の開始
1993年 奥尻島津波 ...労働協約の改定を実施
- ▶ 2001年三井住友海上発足、2010年MS&ADグループの発足に合わせて対象会社が拡大。その都度、導入のための各種交渉・調整を行い、全社を対象とした。

3

対象災害

〔国内〕

災害救助法適用災害で義援金募集が行われる災害

〔海外〕

日本経団連が支援に関する**情報を提供**※する大規模災害について、災害の規模・グループ保険会社拠点の意向等を勘案して、義援金を募集する場合は人事・総務部が個別に起案し、担当役員決裁により決定する。

※日本経団連が情報を提供する基準：

国際的な支援を必要とする国で発生した大規模災害で、企業からの資金・物資支援へのアカウントビリティが担保できる団体として、ジャパン・プラットフォームと日本赤十字社が支援活動を行う場合に情報を発信。

4

募集方法

- ▶ 1口500円で募集 イン트라ネットで募集案内
- ▶ イン트라ネットの申込画面で1クリックで申込み、現金を介在させずに給与天引で協力できる。
- ▶ 募集期間は原則1週間（なるべく2週間にまたがるように設定）
- ▶ 締切後、各社での募金を持株会社へ集約し、会社のマッチングギフトを上乗せして寄付する。

5

マッチングギフトの拠出金額

- ▶ 持株会社から拠出し、海外を除くグループ会社社員の募金額と同額とする。
- ▶ ただし、以下の上限を設定する。
 - ・1件あたり500万円
 - ・年間会社拠出合計額の上限3,000万円これを超える場合は、人事・総務部が個別に起案し、担当役員決裁により決定する。

6

寄付方法

〔国内〕

- ・社員からの寄付は、「義援金」として寄付
...「預り証」発行の要件
- ・マッチングギフトは、「義援金」、必要に応じて被災者支援活動を行う団体へ「支援金」として寄付
- ・寄贈の際には地元紙等に取材を要請

〔海外〕

ジャパン・プラットフォーム、赤十字社、NGO等の活動状況、グループ保険会社拠点の意向等を踏まえて配分を決定する。

7

実績

- ▶ 2004年10月の本制度創設から11年間の寄付金の累計額が、5億円を突破 [ニュースリリース](#)
- ▶ 2015年度分を含めた累計は、5億4,798万円 [ニュースリリース](#) [ホームページで実績を開示](#)
- ▶ 件数・金額の内訳

	国内		海外	合計
	義援金	支援金	支援金	
件数	47件		30件	77件
金額	2億5,002万円	9,998万円	1億9,799万円	5億4,798万円
比率	71.4%	28.6%	—	

8

支援金の必要性

- ▶ 「災害ボランティア活動支援プロジェクト会議※」に発足当初より運営委員として参加

※企業・NPO・社会福祉協議会・共同募金会等により構成されるネットワーク組織。通称「支援P」2004年の新潟中越地震の後、2005年1月より中央共同募金会に設置された。

- ▶ MS&ADグループでは「支援金」の必要性を早くから認識、中越地震以降、支援Pへ「支援金」を寄付して現地災害ボランティアセンターを資金面で支援。
 - ・災害ボランティアのコーディネーションの重要性
 - ・スムーズな運営のためには、人（運営支援者）、物（VC立ち上げ、資機材）の適切な調達と配置が不可欠で、そのためには資金が必要。

9

社員への「預り証」交付(2012年度～)

- ▶ 国内災害について、義援金として国または地方公共団体に寄付した場合は、所得税法第78条第2項第1号の「国又は地方公共団体に対する寄附金」に該当し、寄付金控除が可能となる。
- ▶ 確定申告の際に寄付先団体の領収書が必要となるが、それに代わるものとして、会社が発行する「預り証」が利用できる。
- ▶ 会社が「預り証」を発行するための手続き
 - ・ 募集開始時...税務署へ確認申請
 - ・ 寄付完了後...税務署へ収支報告提出
- ▶ 預り証発行は、社員に対するCSRと認識しており、これにより、寄付の促進効果も見込まれる。

10

資金的支援をする際、 注意していること、大事にしていること

- ▶ ニーズに合った寄付
支援Pの動向等、実際のニーズを確認し、必要な額を必要なところへ贈る。
- ▶ コミュニケーション
そういう意味で、日頃からのコミュニケーションが大切。
- ▶ 現場主義
行けるときは、自ら現場へ赴き自分の目で確認することも大切。
- ▶ 信頼性を重視
団体を直接選べないときは、公平性に鑑み、信頼のおける中間支援組織または募金の仕組みを活用。

11

ボラサポ、支援Pなどに関わって 日頃から企業が取組んでおくべきことなど

- ▶ 社内での大規模災害時の資金支援・物品提供の仕組みづくり
- ▶ 災害ボランティアの動向を知っておくこと：
派遣や資金調達の仕組み、中心的役割を担う団体等
- ▶ 災害ボランティアに関わる主要なNPOセクターとの日頃からのコミュニケーション

以上

台風21号（沖縄県与那国町）への義援金について

9月に発生した台風21号により被害を受けられた皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈り申し上げます。

MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社（社長：柄澤 康喜）では、被災者の方々の支援を目的にグループ各社の社員から義援金を募り、1,731名の社員から約163万円の義援金が集まりました。また、災害時義援金マッチングギフト制度による会社拠出金と合わせ、総額約326万円を沖縄県へ寄贈しました。

MS&ADインシュアランス グループは、今後も、グループ社員一丸となって社会貢献活動に努めてまいります。

寄付の内訳

対象地域	協力者数	MS&ADグループ 社員の義援金	災害時義援金 マッチングギフト	寄付先	寄付金額 合計
沖縄県	1,731名	1,631,500円	1,631,500円	沖縄県共同募金会	2,763,000円
				日本赤十字社沖縄県支部	500,000円
				合計	3,263,000円

<ご参考>

災害時義援金マッチングギフト制度

社員からの義援金に対して、会社が上乘せして拠出します。

対象災害：国内は災害救助法適用災害

海外は日本経団連が支援に関する情報を提供する大規模災害

【拠出実績】

	社員拠出額	マッチングギフト	合計額
2015年度	19,902,000円	18,666,000円	38,568,000円
2014年度	18,116,250円	17,623,250円	35,739,500円

※2015年度は2015年11月30日時点の実績

【制度創設（2004年10月）からの寄付累計】

件数	参加社員数	社員拠出額	マッチングギフト	合計額
77件	169,317人	284,389,552円	263,593,413円	547,982,965円

以上